

各地の活動紹介 沖縄県

一般社団法人沖縄県言語聴覚士会

多職種協働と専門性の向上を目指して ～新しい局面を迎えて～

会長 久志 紫乃

沖縄県は東シナ海と太平洋にある363の島からなる県で、人口は142万5千人余、一年を通して温暖な気候です。観光と台風と基地問題でもよく知られているかもしれませんがね。高齢者と子どもが多い県です。

沖縄県言語聴覚士会は1999年に設立され、2011年に一般社団法人化しました。また、沖縄県内に養成校も誕生し会員も増え、会員数は215名を超えました。

新しい理事会の誕生

今年の5月の定期総会で新しい理事会が発足しました。理事は若手中心の構成ですが、理事全員が「会を盛り上げていこう」という強い思いで沖縄県の言語聴覚障害を抱える方たちやそのご家族を支援するために、また、県内の言語聴覚士の自己研鑽と交流の場を創るために、担当の部局で頑張っています。



沖縄県言語聴覚士会理事のメンバー

リハビリテーション専門職としての取り組み

今年度の新しい取り組みとして、当士会と沖縄県理学療法士協会、沖縄県作業療法士会で沖縄県リハビリテーション専門職連絡協議会を設立しました。月に一度、それぞれの進捗状況の報告を行い、県や市町村と連携を取りながらさまざまな事業計画について話し合っています。和気あいあいとした雰囲気の中にも、他団体の取り組みに刺激をもらえる貴重な場です。



第5回県民健康フェアにて 理学療法士会、作業療法士会と合同で

専門性の向上と社会貢献を目指して

沖縄県の保健医療に関わる17団体で構成されるなごみ会にも参加し、毎年開催される県民健康フェアで言語聴覚士の啓発活動を行っています。また、目前に迫った地域包括ケアシステム構築に向けて、沖縄県ではモデル市として、沖縄市と宮古島市が地域ケア会議をスタートさせており、当士会は沖縄市4回、宮古島市1回、助言者の派遣を行いました。今後このような会議が全県下で行われる予定で、助言者の育成が急務です。従来通り生涯学習支援や各専門分野の研修会を継続しつつ、地域リハビリテーション支援事業推進に向けて研修会を計画していきたいと考えています。



沖縄市自立支援地域ケア会議の風景



琉球新報「論壇」に掲載されました
(2015年8月3日掲載)